

(様式第 6 号 別紙)

長崎県福祉サービス第三評価結果報告

① 第三者評価機関名

有限会社 医療福祉評価センター

② 事業者情報

名称：社会福祉法人南高愛隣会 わーくさせぼ	種別：・就労継続支援 B 型 ・日中一時支援
代表者氏名：平山健二郎	定員（利用人数）： 20 名
所在地：長崎県佐世保市大塔町 33 番地 10	TEL：0956-34-3668

*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③施設・事業所の特徴的な取組

・社会福祉法人南高愛隣会は、目の前の障がいのある方の“幸せ”に寄り添い、且つ、社会的課題に挑む質の高い実践を基盤とし、平成 30 年度、「生きる誇りへの、挑戦。」を新たな理念として掲げ、日本における社会福祉サービス事業者のロールモデルとなり得る多様なサービスを展開している。

・2019年4月1日より佐世保市大塔町に佐世保拠点事務所(複合型施設)を設置した。「Local Station Plus(ローカルステーションプラス)」と称して、4つの障がい福祉事業を集結させた。従来、県北エリアで運営されていた就労継続支援B型、生活介護事業、共同生活援助事業を統合して拠点化されたものであるが、統合により、相互作用の好循環が生まれ、人財交流等の効果性・効率性を向上させている。閑静な住宅地に立地しており、地域との交流も活発に行われ、利用者が普通の生活を送ることができるコミュニティとしての機能も果たしている。

・佐世保拠点事務所(複合型施設)「Local Station Plus(ローカルステーションプラス)」は、地域の方々が自然と行きかう Station となり、「地域とつながること」、「ストレングス支援を提供すること」、「常に挑戦的思考であり続けること」といった Plus をキーワードとした事業展開を目指すという想いが込められている。

・利用者のニーズと特性に応じた機会を提供しており、利用者と職員が一丸となって、「工賃向上」をテーマとして標榜し、マネジメントの行き届いた法人全体及び事業所で策定された事業計画に基づき、毎年、工賃アップに挑戦し続けている。

- ・わーくさせぼは「一人一人が働いて輝く職場」を目指して、利用者の特性を理解するための学びを深化させたり、利用者個々に応じた個別支援計画書に基づく利用者支援を実践している。
- ・わーくさせぼにおける就労内容は、主に施設外就労として「企業委託清掃」と、施設内就労として「ジェリーズポップコーンの製造・販売」としている。
- ・わーくさせぼでは就労支援だけではなく、毎週土曜日に社会適応学習(スキルアップ研修)を行っており、社会人としてのマナー講座や、実践を交えた金銭管理方法、楽しみの中からコミュニケーション能力を高めるレクリエーション等、様々な角度から利用者支援を行っている。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 2 年 7 月 20 日 (契約日) ~ 令和 3 年 1 月 7 日 (評価結果確定日)
受審回数	今回が初めて

⑤総評

◇特に評価の高い点

【工夫された事業計画】

法人本部により確立された優れたフォーマットを用い、法人の中長期計画を意識した単年度の事業計画が現場職員主導により策定されており、利用者・職員のオペレーションと直結し成果をあげている。また、利用者・ご家族への共有や、外部への情報開示も適切に行われており、すべてのステークホルダーに対し法人として進むべき道を示している。

【ICT等活用】

法人内において、サイボウズ／キントーン、ガルーン、ケアコラボ等のICTツールが用途に応じて使いこなされており、漏れのない情報共有体制が確立しており、法人・各事業所のマネジメントの安定をもたらしている。ICT等が苦手な職員も多数存在したが、習得まで繰り返し行われる内部研修など万全のサポート体制により、先駆的且つ効率的な職場環境を創り出している。

【キャリアパスを活かした取り組み】

「人生は、楽しい」の理念そのままに、利用者・職員一人ひとりが仕事を通じた人生設計とサポート環境が整っている。それぞれの目標と自己実現に向けて、モチベーションと日々の成長が実感できる仕組みが確立されている。

【働きやすい職場環境づくり】

利用者・職員にとって働きやすい職場環境づくりに力を注いでいる。特に、利用者それぞれの持つ強み・特性を最大限に引き出す作業環境を創意工夫されており、皆生き生きと働いている様子がみられた。さらに、元来、就労継続支援サービスに内包する社会参加が、より強力且つノーマルに展開されている。その影にある職員の情熱とアイデアが原動力となり、わーくさせぼが掲げる、「利用者・職員一人ひとりが働いて輝く職場」が実現している。

【指摘に対する真摯さ】

当評価第1日目、事業所玄関に設置してあるプッシュ式のアルコール消毒について、感染症予防・対策の観点から非接触型であることが望ましいと指摘したところ、翌朝には非接触型に替えられていたのには驚きと共に感銘を覚えた。この「真摯さ」こそが、わーくさせぼの強みであり、事業を強力に推進する力だと再確認することとなった。

◇改善を求められる点

【地域・企業との関わり】

当事業に関わる利用者、法人・事業所、職員皆が目標として掲げる工賃アップを果たすべく販路拡大を共通テーマとしているが、例えば、企業を招いて実際の作業をみてもらう見学ツアーの実施や、利用者が主体的にプレゼンする機会の創出など、より有効な具体的戦略と実践を期待する。

【情報発信】

法人全体においてはこの上ない情報発信が展開されているが故に、現場サイドにおける情報発信については改善の余地があると感じた。例えば、ウェブサイト上のわーくさせぼ単体ページへのアクセス数への拘り（アクセス数を目標設定するなど）や、わーくさせぼ Facebook ページの定期的な更新等（記事は、特記する出来事ばかりではなく何気ない日常の様子も良い）、わーくさせぼを知ってもらうこれらのアクションにより、目標の工賃アップにつながる道を切り拓いてもらうことを望む。

⑥第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当事業所の取り組みを丁寧に把握、分析し、具体的な課題をご提示いただいたことは非常に貴重である。その課題については即改善に努め、サービスの質の向上に活かしてまいりたい。また、日々取り組んでいる実務や活動が如何に大切なことで意味ある事なのかを職員全員で改めて再確認することができた。課題点は改善しつつ、高評価を頂戴した点については更に磨きをかけて、社会に貢献できる質の良い事業所を目指してまいりたい。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)